

# サンゴメンテナンスの活動報告

## TOPIC.1

### サンゴの暮らす環境って？



サンゴの暮らしている環境はどんな場所でしょうか？ 私たち飼育スタッフは恩納村の海域でサンゴの育成をしています。メンテナンス時にはサンゴの成長記録を取っていますが、サンゴが生育するには様々な環境要因がサンゴに適していることが大切です。その環境要因を知るため、メンテナンス時にサンゴを育成している場所の水温や光の強さなど、測定器を使って測定しています。項目としては「水温」、「サンゴに当たる陽光の量や強さ」、「潮の流れの速さや向き」などを測定しており、サンゴの育成には何が必要で、数値に表わすとどのくらいなのか？という事を得られたデータから考察しています。測定器の種類は様々ありますが、なかには約半年間海の中で計測している測定器もあり、今も恩納村の海の中で計測を行っています。

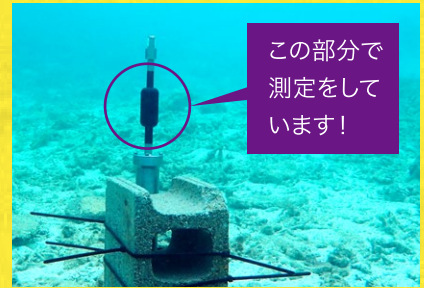
光の調査中



海中に設置した流向・流速計



地面すれすれで測定中



この部分で測定をしています！

多くのデータを集めることでサンゴの飼育のヒントに繋がればと考えています。  
今後もデータ数を増やしていき、サンゴが暮らす環境についてもっと知りたいと思います！

## TOPIC.2

### 産卵までのドタバタ…。



サンシャイン水族館が恩納村で育成しているサンゴは、毎年5～6月に産卵します。通常サンゴの産卵は大潮の満月の日と言われていますが、毎年決まった日に産むわけではありません。一番確実なのは、実際に海へ潜り、サンゴの様子を毎日確認できれば良いのですが…。私たちは普段東京にいるため、いつ恩納村に向かうかという判断が重要になってきます。今回はサンゴの卵の成熟は見られるものの、いつ産むのか全くわからない状況でした。いざ日程が決まったのは出発2日前！水族館のサンゴ受入れ用の水槽の準備を急いで行い、恩納村へ出発しました。



恩納村に到着してからも、いつ産まれるのかドキドキしていました。東京を出て2日目の6月2日の夜、サンゴの確認のため潜水を行ったその日に、海中でサンゴの産卵が観察されました。水中にいる私たちは驚きと共に感動しました！そして、感動しつつも次は採卵作業です。しかし、本来であれば採卵トラップ(2018年6月活動報告参照)の試験もこの潜水時に行う予定だったので、試験をせずに本番です。途中トラップが外れてしまい、集めた卵が海へ流れ出てしまうハプニングがあり、少々パニックになったものの、何とか採卵に成功しました！その後、無事にサンシャイン水族館へ卵の搬入ができました。



今回のようなドタバタなスケジュールは初めてでした！しかし、無事にサンゴの産卵を海中で見ることができてホッとしています。次回、約1年後はドタバタしないように準備をしたいところですが、生き物なので臨機応変に対応していきたいです！



## サンゴ返還プロジェクト 活動報告

### サンゴの返還



2018年12月に恩納村海域の中間育成棚に仮置きをしておいた枝サンゴを移植しました。管理している移植場所はいくつかありますが、それぞれ環境が違うので成長過程が楽しみです。



### 返還したサンゴの卵の確認



2012年に移植したウスエダミドリイシですが、今年も卵が確認されました。卵の色はまだ薄く成熟していませんでしたが、無事に今年も産卵してくれることでしょう。



### 1年でここまで成長！

移植したサンゴの状態確認、計測、撮影を実施し、成長を阻害しないようにサンゴ周辺の岩清掃を実施しました。



2018年6月移植



2019年6月



### スタッフ一言メモ (飼育スタッフ:A.H)

サンゴ産卵のこの時期には毎年ソワソワしていますが、今年は念願であった海中での産卵を観察することができました！海中での採卵は陸上水槽での採卵とは環境や状況が全く異なり、日没後の真っ暗闇の中、手持ちのライトのみが頼りとなります。静かな海中で急に卵の放出が始まり、サンゴから吹き出しながら波に揺られて浮上していく光景はとても神秘的な瞬間でした！この瞬間の、この光景はサンゴを知らなくても必ずや感動するものと思っています。一年に一回の貴重な瞬間を、動画であったとしても一度は見てほしいものです。



## サンゴ礁再生プロジェクト 活動報告

### 株分けしたサンゴのその後…

前回(2018年11月)に株分けしたサンゴのその後をご紹介します。

① ほとんど成長がみられず、白化状態が確認されます。



2018年11月移植



2019年6月

② 順調に生育中! 枝振りも大きくなってきました。



2018年11月移植



2019年6月

同じような育成環境であっても、サンゴの成長や状態に差がでてくることもあります。特に①のサンゴは弱った状態でしたので、このあとに迎える夏の高温に耐えられるかが心配です。無事に乗り越えてくれると良いのですが…。

### サンゴ育成場、鉄筋交換で作業を快適に!



2014年からスタートしたこのプロジェクトも3年以上の月日がたちました。プロジェクト当初から育成しているサンゴは約60cmと大型になってきました。サンゴの大型化にともない、サンゴをセットしている鉄筋を長いものに交換しました!

新しい鉄筋はより長いものを使用しているので、サンゴ下に潜り込んでの作業もとてもスムーズになりました!



### 2017年産稚サンゴ、移植のその後

受精卵から育てたサンゴを初めて返還したのが、2018年11月でした。ドキドキの6か月間でしたが、順調な成長を確認することができました! 今後の成長も、活動報告で紹介していきますので、あたたかく見守っていただけたら嬉しいです。



2018年11月移植



2019年6月